



2021年4月16日

各位

会社名 ロードスターキャピタル株式会社  
代表者 代表取締役社長 岩野 達志  
(コード番号:3482 東証マザーズ)  
問合わせ先 取締役最高財務責任者 川畑 拓也  
(TEL. 03-6630-6690)

### 「株主優待用投資枠」を設定した第1号案件提供開始のお知らせ

～『OwnersBook』にて4月19日より募集開始予定～

不動産特化型クラウドファンディングサービス『OwnersBook(オーナーズブック)』を手掛けるロードスターキャピタル株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:岩野達志、以下「当社」といいます)は、この度、当社株主の方が優先的に『OwnersBook』案件に投資申込可能となる「株主優待用投資枠」を設定した案件の提供を開始する運びとなりましたのでお知らせいたします。

当社は昨年10月に株主優待制度の導入を発表しており、第1号案件の募集を2021年4月19日より開始する予定です。

#### ■第1号案件の概要について

案件名	大田区レジデンス用地第2号第1回
募集総額	5,000万円
申込単位	1口1万円単位
予定利回り (年換算・内部収益率)	4.1%
予定運用期間	19ヶ月
予告画面の開示	2021年4月16日
募集期間	2021年4月19日18時00分～4月22日23時59分(予定)
投資実行日	2021年4月23日(予定)

#### 上記案件の株主優待用投資枠

株主優待枠での募集額	1,500万円
申込単位	1口1万円単位
優待(先行申込)受付期間	2021年4月19日12時00分～17時59分(予定)

案件の詳細につきましては、『[OwnersBook](#)』公式サイトにて開示いたします。

当社は、これからも不動産・金融・IT に対する深い知見とリスクコントロール力等を強みとして、クラウドファンディング事業の更なる成長を目指して案件運営に取り組んでまいります。

## ■当社の株主優待制度について

### (1) 優待内容

『OwnersBook』の貸付型案件(先着方式)及びエクイティ型案件の投資枠の一部を、「株主優待用投資枠」として提供いたします。

優待枠をご利用されると、一般の『OwnersBook』投資家様に先行して案件へ投資申込いただけるようになります。

### (2) 対象となる株主様

当社株式を 1 年以上継続保有され、毎年 12 月 31 日現在の株主名簿に記載または記録された株主様のうち、当社株式 1,000 株以上を保有されている方を対象といたします。

株主優待のご利用に当たっては、『[OwnersBook](#)』公式サイトにて投資家登録していただく必要があります。

### (3) その他

当社株主優待制度の詳細は以下よりご確認ください。

・株主優待制度サイト

<https://loadstarcapital.com/ja/ir/benefits.html>

・株主優待制度の導入に関するお知らせ(2020.10.15 発表)

[https://loadstarcapital.com/ja/ir/irnews/auto\\_20201013403121/pdfFile.pdf](https://loadstarcapital.com/ja/ir/irnews/auto_20201013403121/pdfFile.pdf)

## ■『OwnersBook』について

<https://www.ownersbook.jp/>

『OwnersBook』は、2014 年 9 月に日本で初めて不動産に特化したクラウドファンディングとして誕生しました。Fintech と不動産テックの両分野にまたがるサービスです。

貸付型の『OwnersBook』は PC やスマホ、アプリで一口 1 万円から投資可能と手軽でありながら、全ての案件を不動産鑑定士等不動産のプロが厳選していること、IT の専門チームにより eKYC や二段階認証の導入などデジタル施策やシステム改善をスピーディに行っていることなど、着実に投資家の皆様の信頼を得て、会員数・累計投資額ともに成長しています。

## ■ロードスターキャピタルについて

<https://loadstarcapital.com/>

ロードスターキャピタルは2012年の設立以来、自己投資業、アセットマネジメント業を中心に仲介業務やアドバイザリー業務を行っています。

2014年からは、『OwnersBook』を通して国内のプロ向け不動産への投資機会を個人の皆様にも提供し、不動産クラウドファンディング業界をリードしてまいりました。

ロードスターキャピタルは『不動産とテクノロジーの融合が未来のマーケットを切り開く』というミッションのもと、これからも不動産業界の新しい扉を開いていく挑戦者として、一層の成長に努めてまいります。

以上